ついじまつ COMMUNICATION

Vol. 33

築地松情報誌 2017年3月
発行／築地松景観保全対策推進協議会

Vol.33 CONTENTS

○松くい虫防除対策研修会の概要
○樹幹注入業者のご紹介
○おたより紹介
○協議会事務局からのお知らせ
とお願い
○平成28年度の主な事業概要

表紙写真

平成26年度
出雲平野の築地松景観
フォトコンテスト　優秀賞
「夏休み」 品川　清一 氏

松くい虫防除対策研修会を開催しました

平成28年９月３日(土)に、斐川文化会館において「松くい虫防除対策研修会」を開催しました。今回は、事前の参加申込みの際に寄せられた質問を中心に、２名の講師から、松くい虫から築地松を守るための正しい防除方法や、薬剤樹幹注入の効果などを解説していただきましたのでポイントをご紹介します。なお、松くい虫被害のメカニズムについては、本誌 32号をご覧ください。(本誌のバックナンバーは協議会ホームページでもご覧いただけます。)

演題：松くい虫被害の概要と防除方法について

島根県中山間地域研究センター　専門研究員　舟木　宏 氏

舟木専門研究員は、主に樹木の害虫と広葉樹の管理を専門に研究されています。

◎薬剤地上散布は実施時期がとても大切！

・マツノザイセンチュウを体内に保持したマツノマダラカミキリ(以下カミキリ)がマツの樹体内から脱出を開始する５月下旬から６月上旬に実施しましょう。

◎地上散布するメリットは？

・薬剤は樹皮内によく浸透し、樹体内は比較的安定して効力が長く持続します。
・カミキリは薬剤散布された枝を食べた場合、３日程度で死滅します。
・幼木へ散布して枯れることはありません。

◎地上散布で気をつけたいことは？マツの状態や環境条件との関係は？

・枝や葉の茂っている部分を中心にして全面に散布します。
・薬液の量は樹幹から薬液がしたたり落ちる程度にして、木の大きさにより適宜増減します。
・薬剤が乾かない内(概ね１時間)の降雨は残効性が低下しやすいので注意が必要です。

◎松くい虫被害に遭って枯れたマツの処理は？

・伐倒駆除で翌年のカミキリの発生を減らせます。伐倒したマツは５月中旬までに処理してください。
・直径２cm(親指の太さ)程度の枝からもカミキリが脱出してくることがあるので、マツの大きさに関わらず被害木を放置しないでください。

まとめ

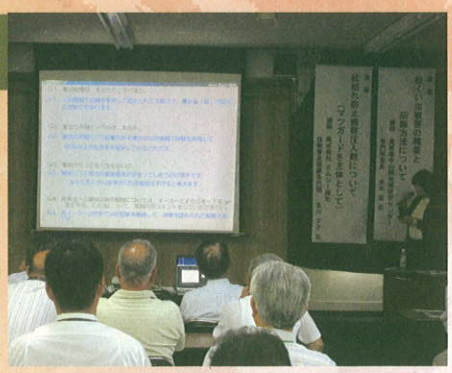
平成23～24年度をピークに松くい虫被害は減少しましたが、無防備なマツが存在する限り被害は継続します。
地上散布や樹幹注入の予防対策を適切に実施するとともに、身近な被害木を放置しないことが重要です。
マツは松くい虫被害が発生すると一瞬にして枯れてしまいますが、立派に成長するには長い年月を要します。
これを念頭に、油断せずに防除を行ってください。

松枯れ防止樹幹注入剤について

株式会社エムシー緑化 技術普及部　　課長代理　及川　夕子 氏

樹幹注入剤に対する質疑応答

築地松の松くい虫予防に最も効果が高いとされている薬剤樹幹注入について、参加者の皆様からたくさんの質問がありました。いくつかご紹介しますので防除対策の参考にしてください。



及川氏は、新薬の開発試験や薬剤の使用方法に関するユーザーサポートなどに従事されている樹木医です。

Q:薬効５年というのは本当？年月が経過すると、５年目は効果が低減するのか？
A:薬効５年間とは、公的機関の試験で90％以上の生存が確認された期間です。

Q:薬効５～６年ということだが、次の樹幹注入を４年目に早めても大丈夫か？
A:問題ありません。

Q:葉枯れ病の薬と同時に使用してもよいか？
A:問題ありません。

Q:剪定(陰手刈り)で先の枝を切った場合、木の中の薬液が減少し効果が失われていかないか？
A:幹に注入された有効成分は、少しずつ枝葉に移動するので大丈夫です。

Q:剪定と樹幹注入をほぼ同時期に実施してもよいか？
A:剪定によってマツにかなりダメージがあるとすると、その年は控えたほうがよいかと思います。

Q:剪定を４年毎に行っているが、樹幹注入は剪定の年から何年目に行うとよいか？
A:剪定の年から何年目からと言うより、剪定された枝葉の量や剪定部位によって判断してください。
剪定量が多かったり、太い枝を切ったりした場合は、その年の樹幹注入は控えた方がよいと思います。

Q:樹幹注入しない方がよいマツは？
A:既にマツノザイセンチュウに感染しているマツ(ヤニの出ないマツ)、植え付けや移植後間もないマツ、過度に矯正・剪定されたマツ、病害虫、その他の原因で樹勢が弱っているマツ等です。

Q:マツがどのくらい生育したら樹幹注入してもよいか？
A:薬剤によっていろいろですので、一律に示すことはできません。
具体的には薬剤の適用表に示されている松の太さ等の条件によってください。

薬剤樹幹注入業者の紹介

出雲市において、次の条件で薬剤樹幹注入の実施が可能と回答いただいた業者を紹介します。

（平成29年1月現在）

- ◆松について専門的知識を有する人員が確保できること
- ◆薬剤樹幹注入に必要な薬剤及び機材が確保できること
- ◆見積書の作成を迅速に対応できること

（注）業者によって、使用する薬剤の種類及び薬効期間が異なります。詳しくは業者へ確認してください。薬剤の単価及び数量は、立地条件や松の状態、使用する薬剤によって多少異なることがありますのでご承知おきください。

業者名	所在地	電話番号
㈲池田造園	出雲市大社町北荒木370番地	0853-53-2819
出雲地区森林組合	出雲市塩冶町967番地1	0853-22-4433
出雲土建㈱	出雲市知井宮町138番地3	0853-22-4118
大國造園	出雲市知井宮町519番地	0853-22-1480
グリーン稲田	出雲市灘分町2515番地	0853-62-3984
先久植木店	出雲市斐川町原鹿1927番地	0853-72-2245
㈱タケダ造園	出雲市下横町402番地	0853-28-8282
玉木園芸	出雲市平田町5596番地	0853-62-4460
南風園	出雲市斐川町荘原2938番地2	0853-72-0454
㈱福島造園	出雲市斐川町荘原2210番地5	0853-72-5300
福田博文	出雲市灘分町845番地	0853-62-3611
松井造園デザイン	出雲市武志町743番地6	0853-21-7966
三島泰治	出雲市斐川町三分市122番地	0853-62-4265
㈱もちだ園芸	出雲市渡橋町398番地	0853-21-2051
緑化建設興業㈲	出雲市大島町283番地	0853-43-2387
㈲渡部造園	出雲市佐田町大呂240番地7	0853-84-0804

あいうえお順、敬称略

おたより紹介

降りしきる　雪の中　静かに佇む　築地松

それは自然の厳しさに耐え、そこに生き抜いてきた、幾世代にもわたる人々の歴史と生命の鼓動を感じさせてくれる。かねて撮りたかった「雪の日の築地松」。５～６年の思いがかなって、夢中で残り少ないフィルムを使った作品です。

平成７年度
出雲平野の築地松フォトコンテスト
金賞　「雪の日」
古賀　典篤（尼崎市）

平成29年１月下旬、この写真の撮影者の古賀典篤さんから電話があり、築地松のフォトコンで金賞を受賞した時の資料が残っていないかと相談がありました。事情を聞くと、「初めて大きな賞を受賞した作品です。とても大切な思い出なのに、阪神淡路大震災後のドタバタで手元にあった写真や当時の新聞のスクラップ等が見つからず気になって仕方ない・・・」とのことでした。古賀さんには、事務局で保管していた応募写真（２枚あったので１枚）や表彰式の写真、新聞記事の写し等をお送りしたところ、お礼のお手紙が届き、当時の思い出やエピソードがたくさん書かれていました。

平成６年２月のこと、尼崎市の自宅から米子へ白鳥の写真を撮影に行った帰り、大雪で中国道が閉鎖され、国道54号線を南下するルートに変更して走行しましたが、間もなくタイヤチェーンが切れてしまい、峠越えを断念して松江方面へ引き返す途中、こんな日こそ築地松を撮るのに絶好のチャンスだと思い、斐川町方面へハンドルを切ったそうです。その時に撮影されたのがこの写真でした。古賀さんの写歴で初の受賞作（金賞が最優秀賞）となり、その喜びを原動力に全国を撮影される写真家になられました。

●協議会事務局からのお知らせとお願い●

- ・住民協定加入者に異動があった場合（加入者の変更、築地松がなくなった方等）は、速やかに協議会事務局へ連絡してください。
- ・新たに協議会に加入されたい方（築地松の所有者で、地域の皆様と協力して築地松の維持管理、再生に取組むことが可能な方）は事務局までご相談ください。
- ・築地松の剪定や防除対策を実施した時は、速やかに助成金の申請をしてください。伐倒の助成金申請は黒松の補植を確約する書面（確約書）の添付が必要です。伐倒の際に松苗の補植をされ、その写真を添付されている場合は不要です。
- ・助成金の申請に添付する領収書は、築地松の剪定又は松くい虫の防除対策にかかった経費とそれ以外の経費がわかるように記入してもらってください。
- ・協議会では、平成29年度も抵抗性黒松の苗の無料配付を実施する予定です。松の補植が必要な方は、配付時期の前に希望調査を行いますので申請してください。

平成28年度の主な事業概要

ボランティアガイド（築地松案内人）

協議会では、築地松に対する関心を高めてもらうことを目的に、基礎的な情報や歴史について分かりやすく解説していただくボランティアガイドを瀬崎勝正さん（斐川町）と稲田輝夫さん（灘分町）の２名にお願いしています。

今年度も11組（約120人）の観光客や学生、マスコミ関係者がガイドのもとを訪れました。心温まるおもてなしにお礼の手紙が届くなど、人と人との交流も深まっています。

ボランティアガイドをお申込みの方は、協議会事務局までご連絡ください。

電話：0853-21-6176

陰手刈り（のうてご）技術研修会

平成28年11月12日（土）に斐川町原鹿地内を会場に「陰手刈り技術研修会」を開催しました。参加者７名は、森林作業員や造園関係者などで、ベテラン講師から陰手刈りの基本的な知識と「技」を学ぶことができました。

協議会では、築地松の日常管理で大切な陰手刈りの技術を後世に伝えていくために出雲地区森林組合と協働して今後も技術研修会を開催していきます。

築地松景観ライトアップイベント

協議会では、築地松を積極的にPRし、保全意識の向上、豊かな自然と調和する景観や歴史を活用した観光資源の価値を高めようと、平成28年11月19日（土）～20日（日）の２日間、斐川町三分市堀の内の特設会場において、築地松ライトアップイベントを行いました。

県外から出雲大社の参拝の帰りに寄られた方もあり、幻想的な秋の夜に映し出された築地松の佇まいを楽しまれていました。

松苗の無料配付

平成29年２月７日（火）～８日（水）に築地松の補植用として、希望者に松苗を無料配付しました。配付した松苗は松くい虫抵抗性松「くにびき松」で、松くい虫に対して通常の黒松より抵抗力の強いものです。

今後も協議会は築地松の再生に、より一層、取組んで参ります。

（注意）「くにびき松」は、ほかの松より抵抗性がありますが、松くい虫によって枯れない松ではありません。枯らさないためには、防除対策をしっかり行う必要があります。

築地松景観保全住民協定の認定状況（平成29年2月末時点）

○住民協定数	一般協定	72協定	特定協定	85協定	合計	157協定
○協定加入者	一般協定	1,104人	特定協定	2,193人	合計	3,297人

築地松景観保全対策推進協議会

［事務局］出雲市都市建設部建築住宅課景観係　〒693-8530 出雲市今市町70番地　Tel.0853-21-6176　Fax.0853-21-6594